

新造船「はまゆう」デビュー

2021-3-4 池田良穂

SHK グループの新航路用(横須賀～新門司)に建造された新造カーフェリー「はまゆう」は、姉妹船「それいゆ」の完成を待って2隻体制で7月から同航路に就航することになっていますが、3～4月にかけて、新日本海フェリーの舞鶴～小樽と敦賀～苫小牧両航路の各船のドック入りに伴って北海道航路に臨時投入されることになりました。事前の情報では3月5日に舞鶴発からと聞いていたので、この日に舞鶴到着の同船を昼間に撮影できるのではと期待をしていました。ところが、3月になって新日本海フェリーのホームページを確認すると、3月2日の小樽発から投入されることになっていて大慌て。3月3日の舞鶴着を出迎えることにしたものの、到着は20時45分で、出港は23時30分ですので、夜景写真しか撮れません。それでも一目見ようと、でかけることにしました。新日本海フェリーのターミナルが見渡せるポートシャインホテルの8階の部屋を指定してとり、夜景撮影に備えて三脚も持参しました。

当日、まずフェリーターミナルに行ってみるとドックインのはずの「すいせん」が停泊しており、17時に出港するとのことでした。また、「はまゆう」は荒天で2時間ほど遅れており、11時前の到着とのことでした。時間もあったので五老岳の展望台に上り、素晴らしい舞鶴湾の景色と、17時の「すいせん」の出港を見てからホテルに入りました。「すいせん」はすぐにドックに向うわけではなく、岸壁を離れて湾内にアンカリングをしたので、ホテルの部屋の窓からもその姿を眺めることができました。

22時半過ぎに「はまゆう」が入港してきて、「すいせん」と一緒にファインダーに収まりました。

7月の横須賀～新門司航路へのデビューが楽しみです。



五郎岳の展望所からの舞鶴湾の全景。



フェリーターミナルに停泊する「すいせん」



17時に岸壁を離れた「すいせん」の姿です。



ホテルの窓から見た、アンカリングした「すいせん」の姿です。



22 時半頃に舞鶴港に入港してきた「はまゆう」です。



停泊中の「すいせん」(左)、入港する「はまゆう」、そして出港する小型タンカーです。



着岸直前の「はまゆう」



「すいせん」と「はまゆう」が交差した時、2 隻のファンネルがファインダーの中に納まりました。



舞鶴港の自衛艦群です。



JMU の舞鶴工場(元日立造船)。



コンテナターミナルの全景。



朝、ホテルの窓から見えた「すいせん」の姿です。